

平成 15 年度 事業計画（案）

財団法人 大阪国際交流センター

新しい世紀に入り、グローバル化の進展とともに情報通信技術の飛躍的な革新・進歩を背景にして、政治・経済・文化をはじめ様々な分野において国境を越えた人・物・情報の移動と交流は一層活発になってきております。また、地方分権化の潮流のもと、自治体による国際協力活動が世界的に注目され、地球的な視野に立った国際交流・協力活動がますます重要となってまいります。一方、近年躍進めざましい N G O ・ N P O と連携・協力した事業展開も必要となっております。

大阪国際交流センターは、1987 年に開設して以来、大阪を中心とした関西一円において、歴史、文化等地域の特性を生かした国際交流活動や市民・外国人を含む地域の住民の国際交流、国際協力に資する事業を積極的に展開することにより、市民レベルの相互理解や友好親善を促進するとともに、わが国の国際化に寄与し、現在では全国有数の地域国際化協会として発展を遂げてまいりました。

平成 15 年度は、地域国際化協会を取り巻く環境が大きく変化するなかで、過去から培ってきた良きものは継承しつつ、事業の再評価・精査を行い、大阪国際交流センターの存在意義を一層発揮していきたいと考えております。そのためには、大阪の集客都市構想に貢献し、国内外の広報の強化ときめ細かい地域内広報を展開するとともに、ブロードバンド通信も活用した新広報戦略の構築を図り、当センターの利用率向上・来館者の増大・認知度アップをめざした販わい戦略を一層推進いたします。新たな時代のニーズに対応した留学生支援施策の展開および N G O ・ N P O との連携・協力にも一層力を注ぎ、職員並びにボランティアなどの人材養成を強化したいと考えております。新たな事業としては、「外国人留学生等専用宿舎助成事業」「多言語メールマガジン事業」「人的ネットワーク構築事業」などを実施いたします。また、これまで 3 回実施してまいりました「アジアの叡知会議」をより実りあるものにするため、国際的・地域間協力の推進について検討を進め、一連の会議で得た方向性

を具現化していきたいと考えております。

一方、極めて厳しい経済状況の中で、事業の効果的・効率的執行に努めるとともに、大阪国際交流センターの将来像を展望しつつ、国際交流活動の拠点として、先導的・積極的な活動を推進し、大阪はもとより関西一円における国際化の進展に努めてまいります。

	<p>図書・ビデオ等による情報提供</p> <p>カナダ留学フェア&説明会</p>	<p>図書コーナーにおいてアジア圏を中心に、各国紹介図書等の充実を図るとともに、地域の国際化、民間交流団体の活動等国際情報の紹介並びに日本紹介図書の充実を図るとともに、ビデオライブラリーにおいて、外国・日本の文化・歴史等の紹介ビデオ等、自由に視聴する場を提供する</p> <p>・図書、ビデオ等による情報提供（平成 15 年 2 月末現在） 図書 約 9,000 冊 ビデオ 1,325 本 雑誌・新聞 約 150 誌</p> <p>カナダ教育連盟との共催により、カナダへの留学を希望する関西地域の社会人、学生を対象にカナダの語学学校、高校、大学の約 30 校の学校関係者による情報提供を行う</p>
<p>(2) 一日インフォメーションサービス</p>		<p>外国人の生活に密接に関係する在阪の諸団体の協力のもと、多言語による情報提供・相談窓口を 1 日開設し、在阪外国人の各種相談に応じる(平成 15 年 6 月)</p>
<p>(3) 情報誌・広報誌等の作成・発行</p>	<p>アイハウスニュース</p> <p>インフォメーション・プラザ・ニュース</p> <p>エンジョイオオサカ (大阪市受託事業)</p> <p>アニュアルレポート</p>	<p>主催事業の広報及び国際交流・国際協力に関わる情報提供や意識啓発を目的とした機関紙を年 6 回発行する</p> <p>在住外国人を対象とした各種の情報を多言語で作成し、情報提供を行う（日本語、英語、中国語、ハングル、スペイン語、ポルトガル語）</p> <p>在住外国人のための生活情報誌で、大阪市から翻訳を含め製作を受託している（英語、中国語、ハングル、スペイン語、ポルトガル語）</p> <p>平成 14 年度（2002 年度）のセンターの事業報告を作成する</p>

<p>(4)インターネット広報事業</p>	<p>インターネットの活用</p> <p>イベント・ボランティア情報提供サービス(i-koko)</p> <p>多言語メールマガジン事業</p>	<p>インターネットを活用してセンター及び事業の国内外への広報を積極的に行うなど広報活動を充実強化するとともに、海外に対する大阪のプロモーションにも幅を広げ、大阪の情報発信機能の一翼を担う</p> <p>登録した NPO・NGO 等国際交流団体のイベントやボランティア情報をもとに、HPサイトにより携帯端末も含め市民へのメーリングサービス等情報提供を行う(http://www.i-koko.com)</p> <p>留学生をはじめとする在住外国人の利便を図るとともに、当財団と外国人とのネットワークを強化することを目的に、インターネットによる多言語対応の掲示板と各言語によるメールマガジンのシステムを構築し、双方向の情報発信を行う</p>
<p>(5)国際交流機関・団体との連携</p>	<p>内外の国際交流機関・団体とのネットワークの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域国際化協会連絡協議会 各府県、指定都市設置で自治省認定団体の連絡組織への参加 ・近畿地域国際化協会連絡協議会 近畿にある地域国際化協会の連絡組織への参加 ・国際会議場施設協議会 国際会議が実施できる条件を備えた施設の全国会議への参加
<p>2 セミナー事業</p>		
<p>(1)国際理解セミナー</p>	<p>アイハウス国際理解セミナー</p> <p>地球市民トークプラザ</p>	<p>研究機関、大学などの第一線で活躍する講師陣を招いて、最新の国際情勢についての講座および講演会を実施し、国際社会の動向について市民の関心を高めるとともに、異文化理解を深める</p> <p>国際舞台で活躍する各分野のエキスパートから若者たちへのメッセージをテーマとするセミナーで、参加者から募った若者ボランティアたちが事業を企画・実施するとともに、平成 15 年度から新たに今後の高齢社会を視野に入れたシニアボランティアの企画・運営によるセミナーを開催する</p>

	<p>国際協力ひろばシンポジウム</p> <p>国際シンポジウム「新・都市の時代」</p>	<p>市民に国際理解と国際協力を促進するシンポジウムを新聞社・テレビと共催し、メディアとの連携により事業の広報とセンターのアピールを図る</p> <p>近代的商業都市として発展を遂げた大阪市が、21世紀の世界都市として成熟するためには、どのような方向性を持てば良いかを、世界各国から都市問題の専門家を招聘して議論する</p>
3 国際協力事業		
(1) 国際協力の理解促進事業	<p>国際理解教育のための絵本作成にともなう原画展</p> <p>開発教育・国際理解教育教材の貸出、販売</p> <p>ワン・ワールド・フェスティバル</p>	<p>NGO関係者、学校教育関係者、国際理解教育関係者、絵本作家等で構成する編集委員会での検討をもとに、子どもや保護者を対象に、アジア地域の現状を踏まえた国際理解教育の教材としての絵本を平成14年度に作成しており、その原画展を開催する（絵本名：にむの木のある村）</p> <p>開発教育・国際理解教育は学校の内外で行われているが、使い易い教材が不足しているため、学校教育や社会教育の現場で活用できるビデオや絵本などの教材の貸出並びに販売を行う</p> <p>市民が気軽に参加できる「国際協力の日」を記念するフェスティバルを開催し、シンポジウム、コンサート、民族料理、NGO等活動紹介など多彩な事業により、市民の国際感覚の醸成と国際協力に対する意識の向上を図る</p>

(2) 市民レベルの国際協力事業	アジア・フィールドスタディー2003	アジア地域で直接市民が国際協力を体験できる機会を提供し、NGO と連携を図りながら、市民参加型の国際協力・交流を実施する (モンゴル、平成 15 年 8 月)
(3) 研修事業	J I C A 長期集団研修員の受け入れ (国際協力事業団受託事業) 上海市人材育成研修員の受け入れ (海外技術者研修協会受託事業)	国際協力事業団が実施する開発途上地域からの長期技術研修員のうち行政にかかわる 2 コースを受託する (各コース 10 名程度) ・生鮮食料品(水産物)流通コース 平成 15 年 9 月～11 月 ・都市緑化行政コース 平成 15 年 9 月～11 月 ・都市上水維持管理コース 平成 15 年 6 月～8 月 大阪市と(財)海外技術者研修協会等が実施している上海市人材育成研修を受託する コース名:「中国国際経営管理研修コース」 期間:平成 15 年 11 月中旬～下旬(2 週間) 予定 受入人数:20 名程度
4 国際交流促進事業		
(1) アジアとの交流事業	大阪・アジアスカラシップ派遣制度 大阪フェローシップ(特別研究奨学金)制度 アジア国際ネットワークセミナー アジアフェス 2003	大阪を中心とする関西とアジアの国際交流・国際協力やアジア研究を志す若者に奨学金を支給することにより、21 世紀の日本とアジアとの交流の架け橋となる有為な人材を育成し、アジアの発展と相互理解の増進を図る 大阪が有する多様な科学技術の蓄積を活かし、アジアをはじめ世界各地からの若手研究者を受け入れ、共同研究等により技術移転を促進するとともに、人材育成と国際交流を図る アジア各地の N P O 等の中堅スタッフを対象に、各地域の人達と生活をともにしながら相互理解と協力・連携を深め人的ネットワークづくりを図る 1990 年以來 13 回にわたり「アジアフェス」を実施してきた成果を踏まえ、アジアの古典・伝統文化にとどまらず、新しい芸術・文化も紹介する。2003 年度はアジアを中心とした音楽・舞踊等の公演・ワークショップを実施する

<p>(2)文化交流事業</p>	<p>21世紀ジャーナリストフォーラム</p> <p>日本 - EU文化交流シンポジウム</p>	<p>世界の第一線で活躍しているジャーナリストを大阪に招聘し、関西のジャーナリストや経済・文化人との人的交流や先端技術施設の視察など大阪を中心とした関西についての見聞を深めていただき、各都市の実情を交えながらテーマに沿ったディスカッションを通じて、情報を広く世界へ発信するためのソフト作り、ネットワークづくりを関西プレスクラブ、関西国際広報センターとの共催で行う</p> <p>日本EU友好週間に合わせ、在阪のEU文化交流機関と連携してシンポジウムを開催する（平成15年5月25日）</p>
<p>(3)外国人との交流事業</p>	<p>高校生文化交流使節派遣</p> <p>大使たちの視線 2003</p> <p>駐日ロシア&アメリカ大使のフォトセッション</p> <p>在住外国人ふれあい事業 ・第5回いんた〜び〜ぷるクイズラリー</p> <p>・外国人ふれあいサロン</p> <p>第14回留学生音楽祭</p>	<p>高校生を夏季休暇中にイギリス・グラスゴー郊外に派遣し、現地高校での授業参加や授業での日本文化の紹介、ホームステイ、各種文化施設訪問や郊外学習、ボランティア体験を通して、相互理解と交流を深める（15名 平成15年8月 約10日間）</p> <p>在日の外国公館および関西在住の外交官等から写真を募集し、審査の上優秀な作品の展覧会を開催し、広く市民に公開するとともに、領事館とセンターおよび市民との交流・連携を強化していく</p> <p>アレクサンドルパノフ駐日ロシア大使及びハワード・ベーカー駐日大使による二人の写真展を開催し、広く市民に公開のうえ、相互理解を図る（平成15年5月6日～14日）</p> <p>在阪外国人と日本人が、一堂に集い交流できる場を設けることを目的として、クイズやゲームを織り交ぜながら参加者同士の連帯や親睦を深める</p> <p>外国人を対象に、登録ボランティアの協力により、会話を中心とする日本語指導事業を通じた相互理解と交流促進・情報交換の場を提供する</p> <p>大阪を中心とする関西一円に学ぶ各国の留学生たちにより繰り広げられる多彩な音楽・舞踊等を通じ、相互理解とネットワークづくりの場とする</p>

	<p>生活日本語コース運営事業助成</p> <p>夏祭りの開催</p> <p>国際学校との連携・協力</p>	<p>来阪外国人が快適に安心して生活するために最低限必要な日本語の会話能力の習得と日本語の理解を高められるよう、関西国際学友会日本語学校に開設された生活日本語コースに対して助成を行う</p> <p>日本文化をテーマに、在住外国人と日本人との相互交流及び文化理解を深める事業を実施する（平成 15 年 7 月 13 日）</p> <p>大阪市内（港区弁天町）に開校した国際学校の子どもたちと市民との交流事業を展開するなど連携・協力を図る</p>
(4) ボランティア事業	<p>ボランティアバンクの運営及びボランティアの活用</p> <p>国際ボランティア企画事業</p>	<p>市民レベルの自発的な国際交流活動を促進することにより、市民一人ひとりの国際感覚の醸成とホスピタリティーの向上を図るため、ボランティアバンクの充実とボランティア活動を行う</p> <p>季節に応じた日本文化・外国文化の行催事をテーマに、登録ボランティアの参加のもとイベントを実施し、外国人との相互の異文化理解を深める</p>
(5) 国際交流事業援助	国際交流促進事業助成	市民の草の根国際交流活動や国際協力活動を支援していくため、国際化に寄与する事業に対して助成を行う
(6) 姉妹都市交流促進事業	大阪市姉妹都市交流協議会委託事業	大阪市の姉妹都市との民間レベルを中心とした交流促進のため、海外へのPR事業等を委託する
(7) 国際交流支援事業	区との連携	区役所等が実施する国際交流事業を側面から支援することにより、大阪市民を対象としたきめ細かい草の根の交流に多面的に協力する
(8) 人的ネットワーク構築事業	人的ネットワーク構築事業	センター主催事業参加者、派遣スカラ、留学生の組織化を図るとともに、IT事業とも連携し、今後のセンター事業に深く関わってもらえるような人的ネットワークづくりをめざす
(9) その他の交流促進事業	「入門国際交流」「実践国際交流」の頒布	国際交流を始めようとする人の手引書である「入門国際交流」や実践している人々の指針である「実践国際交流」を頒布する

5 外国人留学生支援事業		
(1) 奨学金支給事業	<p>奨学金支給事業</p> <p>提携都市等私費留学生等渡日前予約奨学金支給事業</p>	<p>市内の大学・短大・専修学校等に在籍し出入国管理及び難民認定法に基づく「留学」ビザを持つ私費外国人留学生を対象に奨学金を支給する 大学院・学部生 4万円/月 短大・専修学校生等 2万円/月 (支給人数 約 130名)</p> <p>大阪市の姉妹都市、友好協力都市、ビジネスパートナー都市、姉妹港ならびに海外事務所設置都市の優秀な青年に大阪の大学で学習する機会を提供し、奨学金の支給を渡日前に決定する 支給金額：100,000円/月 支給人数：1名</p>
(2) 宿舎提供事業	<p>留学生向け賃貸住宅供給事業</p> <p>外国人留学生等専用宿舎助成事業</p>	<p>国土交通省の「特定目的借上公共賃貸住宅制度」を活用し、民間の賃貸住宅を借り上げる方式による留学生住宅の管理運営を行う (単身型 48戸、世帯型 6戸)</p> <p>社員寮、民間賃貸アパートなど、日本人向け宿舎施設を外国人留学生等専用宿舎に転用する家主等に対し助成を行う (単身型 50戸：3500円/月 世帯型 10戸：5500円/月)</p>
(3) 健康管理推進事業	国民健康保険加入促進のための助成	留学生の健康上の不安を除き、安心して勉学に励めるよう国民健康保険料の一部を助成し、加入を促進する
(4) 相談事業	外国人留学生相談コーナー	専門相談員を配置し、留学生の各種相談に応じる
(5) 招待事業	<p>文化事業への招待</p> <p>文化施設「特別入場制度」</p>	<p>当センター主催または共催事業や大阪市の関連事業へ留学生を招待し、日本文化理解の促進を図る</p> <p>日本文化に親しみ、理解を深める機会を提供するため、大阪府・市立文化施設及び民間施設に随時入場できる無料入場証を交付する</p>

<p>(6) 外国人留学生等支援市民募 金事業</p>	<p>私費外国人留学生等支援のための市民 募金事業</p> <p>国際学校奨学金支給事業</p>	<p>広く市民や企業から留学生等支援のための寄附を募るとともに、それにより、生活費、医療費、学費、一時帰国費の貸付けを行うほか、冠奨学金の支給など寄附者の意向に添った事業を行う</p> <p>在阪企業からの寄付金をもとに、大阪市内（港区弁天町）に開校した国際学校の子どもたちへ入学補助金等の支給を行う 入学補助金：@100,000×20名 学費補助金：@200,000×10名</p>
<p>6 調査研究事業</p>		
<p>(1) 国際的・地域間協力推進の検 討</p>		<p>過去3回実施した「アジアの叡知会議」で得た方向性を具現化するために、各分野（政治・経済・文化・国際交流・国際協力等）の専門家約10名で構成する委員会を設置し、中長期的展望にたった検討を行う</p>
<p>7 施設管理運営事業</p>		
<p>(1) 各種施設の提供</p>		<p>施設・設備・備品の整備に努めることにより、利用者サービスの向上を図る</p>
<p>(2) 各種施設の利用促進</p>		<p>国際会議、学会、シンポジウム、セミナーなど多様な催事の誘致を図るとともに、会議後のレセプション、宿泊などホテル機能とのトータルな利用促進に努める</p>